

グアテマラ

～異文化からのメッセージ

9月23日、菅生公民館で国際理解出前講座を実施し、25名が参加しました。講師は、山田公民館の館長を務める照本 忠光さんです。照本さんは、JICAのシニアボランティアとして、グアテマラで2年間日本人学校の校長を務めていました。



まず、地理について説明がありました。グアテマラは中央アメリカに位置し、北海道と四国を合わせたぐらいの大きさです。国内にある3つの世界遺産や、世界一美しい湖であるアティトラン湖などの観光名所についても、講師が現地で撮ってきた写真とともに紹介がありました。先住民であるマヤ人の特徴についても説明がありました。伝統的な行事の1つである11月の死者の日に死者を偲び、先祖が乗って戻ってこれるように凧を揚げるそうです。

グアテマラは治安が悪いため、車の窓ガラスに防犯フィルムを貼り、家は電気が通っている鉄の柵で囲っているそうです。子どもは学校が好きですが、1割しか卒業しないそうです。その背景には、貧困、教育環境、男女差別などがあります。しかしながら、幸福度ランキングでは、日本よりランキングが高く、人々はおおらかな考えを持って、明るく生きているようです。そんなグアテマラ人から日本人は、学ぶべきことがあるのではないのでしょうか。講師から「無理をせず、ほどよい程度で生きる」など、考え方が楽になる生き方の話もありました。

最後に、講師から参加者全員にグアテマラのおまじない人形であるキタペナ人形のプレゼントがありました。



▲キタペナ人形

グアテマラは日本から遠く、ニュースなどでもあまり聞くことがなく、なじみの少ない国ですが、今回の講義を通じて、少しでも身近に感じていただくと幸いです。また、日本とは違う文化や考え方を「違っていても面白い」ととらえるきっかけになることを願っています。